

三原市公共施設類型別実施計画

【スポーツ・レクリエーション系施設（レクリエーション・観光施設）編】

1 施設配置



No.	施設名
1	道の駅みはら神明の里
2	道の駅よがんす白竜
3	高坂自然休養村
4	宇根山家族旅行村
5	棲真寺山オートキャンプ場
6	大和サイクリングターミナル
7	すなみ海浜公園
8	小坂農村公園
9	高坂親水公園
10	善入寺温泉スタンド

2 施設データ（平成 26 年度の実績を記載し、収入・支出は臨時的なものを含む。経過年数は平成 28 年時点）

施設名	地域	建築年(年)	経過年数(年)	延床面積(m ²)	運営	収入(千円)	支出(千円)	収支(千円)	開場日数(日)	利用者数(人)	利用者当収支(円/人)	日当利用者数(人/日)
道の駅みはら神明の里	三原	2012	4	1,089	指定管理	104	17,829	△17,725	353	524,844	△34	1,487
道の駅よがんす白竜	大和	1996	20	297	指定管理	12,316	19,985	△7,669	348	167,076	△46	480
高坂自然休養村	三原	1979	37	601	直営	19	8,067	△8,048	350	13,347	△603	38
宇根山家族旅行村	久井	1996	20	1,153	直営	506	2,993	△2,487	90	2,937	△847	33
棲真寺山オートキャンプ場	大和	2000	16	320	指定管理	4,307	8,303	△3,996	275	5,233	△764	19
大和サイクリングターミナル	大和	1998	18	568	指定管理	75	3,105	△3,030	307	9,739	△311	32
すなみ海浜公園	三原	2002	14	542	指定管理	647	15,331	△14,684	365	55,011	△267	151
小坂農村公園	三原	2009	7	33	直営	0	1,145	△1,145	365	不明	-	-
高坂親水公園	三原	1998	18	13	直営	0	1,145	△1,145	365	不明	-	-
善入寺温泉スタンド	本郷	2000	16	24	直営	75	604	△529	365	不明	-	-

3 現状・課題

(1) 道の駅

市民の交流、道路及び地域等の情報の受発信並びに地場製品の販売等を通じて、道路利用者の利便性の向上及び地域資源の有効活用を図り、地域の振興に寄与することを目的として設置している。

ア 道の駅みはら神明の里

- ・利用者・売上げともに増加傾向にあり、本市を代表する施設として、市の情報発信及び観光拠点としての貢献度も高く、今後も事業を継続する必要がある。
- ・一定の収益確保が見込めるため、平成 29 年度の更新時から指定管理料を 0 円とし、平成 28 年度には収益の一部を市が寄附を受けた。なお、その寄附金は、基金へ積み立て、将来的な大規模修繕の財源として活用する。

イ 道の駅よがんす白竜

- ・利用者・売上げともに増加傾向にあり、本市を代表する施設及び北部の観光拠点としての貢献度は高く、今後も事業を継続する必要がある。
- ・堅調な運営を行っているが、駐車場が狭小であり、その対応が課題となっている。

(2) キャンプ場等

ア 高坂自然休養村

- ・観光農業の確立と市民の憩いの場として設置している。
- ・利用者については、市内からの利用者が約 6 割を占めている。
- ・施設の老朽化と、市民のレジャーや憩いの多様性が増すことにより利用者が減少しており、公共施設としての必要性や有効性は年々下がってきている。
- ・国有林借上代（年間約 1,000 千円）や山林を含む広い敷地（約 9ha）を維持管理するための費用負担も大きい。キャンプ場及び農村広場（野球場）の利用料は無料であり、会議室などの利用料収入しかないため、収支は常にマイナスの状況となっている。
- ・施設は北部エリアと南部エリアに分かれており、キャンプ場がある南部エリアは施設の老朽化とともに、進入路が狭く、利用しにくい状況にある。

- ・棲真寺オートキャンプ場・宇根山家族旅行村にもキャンプ場があり、本施設のキャンプ場の必要性を整理する必要がある。
- ・現在、施設のリノベーションについて、地元住民を中心としたふるさと高坂佛通寺活性化協議会において検討している。
- ・佛通寺と連携を図り、紅葉シーズンの慢性的な渋滞解消に寄与するためにも、農村広場の有効活用に取り組む必要がある。
- ・「高坂ならではの」魅力を発信し集客につなげるため、管理運営主体は地元の組織で自主的に行う必要がある。

イ 宇根山家族旅行村

- ・住民の教養の向上，健康の増進，情操の純化を図り，生活文化の振興，社会福祉の増進及び青少年の健全育成に寄与することを目的として設置している。
- ・市内からの利用者と市外からの利用者が概ね半々となっている。
- ・管理棟，炊事場，テントサイト 34 区画，デイキャンプサイト 30 区画があり，近隣の宇根山天文台，青年の家とのセット利用者も多い。今後も「泊まる（キャンプ場，青年の家）」「学ぶ（天文台）」「運動する（周辺のスポーツ施設）」の 3 要素セットでの売込みを積極的に行う必要がある。
- ・キャンプサイトの稼働率が高いのは，ゴールデンウィーク及び夏季に限定しているため，開場時期の見直しや市内のキャンプ施設との集約化の検討も必要である。

ウ 棲真寺山オートキャンプ場

- ・さわやかな清流と恵まれた自然の中に，都市と農村を結ぶ拠点として，滞在型観光レクリエーション活動の場を確保し，住民と利用客の交流を促進し，また，地域産業の振興を図ることを目的として設置している。
- ・通年で，グループや家族・個人で利用されている。
- ・春・秋の行楽シーズンの利用は堅調であるが，休日の利用が多く（全体の約 80%），利用の少ない平日の対応の検討が必要である。
- ・利用者は，市外からの来訪者が 70%を超え，リピーターも多いことから，今後も継続的に利用されるものと見込まれる。

(3) その他

ア 大和サイクリングターミナル

- ・住民の体力増進と青少年の健全育成を図ることを目的として設置している。
- ・利用者の約 2/3 が市内からの利用者で，サイクリングの形態がレンタルサイクルから持ち込み自転車へ変化していることなどから，利用者が減少している。
- ・本市におけるサイクリングターミナル機能の有効性（ニーズ・効果・採算性等）を精査し，必要な場合は最適地での実施を検討する。
- ・施設の目的外使用として行っている特産品の加工・販売（平成 29 年 11 月末で終了）は，一定程度の売上げがあった。

イ すなみ海浜公園

- ・海洋性レクリエーション，その他の憩いの場を提供することにより，住民の余暇の活用及び健康の増進に寄与することを目的として設置している。
- ・市民利用型の海洋性レクリエーション施設として設置されたが，市外からの利用もあり，

観光施設としての役割も果たしている。

- ・海水浴シーズンの利用は多いが、その他の時期の利用は少ない。通年で利用できる施設であることから、指定管理者による自主事業を促す必要がある。

ウ 小坂農村公園

- ・農村地域の連帯感の醸成及び市民の健康増進を図ることを目的として設置している。
- ・利用者数は不明で、収入はないが、地域での利用はあり、維持管理費のみがかかっている状態である。
- ・ゲートボール等で有効活用しており、当面、施設の機能維持は必要である。

エ 高坂親水公園

- ・地域住民に安らぎと憩いの場を提供し、豊かな人間性を培うことを目的に設置している。
- ・利用者数は少なく収入もなく、維持管理費のみがかかっている状態である。

オ 善入寺温泉スタンド

- ・温泉源の有効な利用を図り、市民の健康で豊かな生活を維持し、及び増進することを目的として設置している。
- ・平成 28 年 12 月に温泉スタンドの温泉水を利用するビジネスホテルがオープンしたことから、収支はプラスに転じている。
- ・汲み上げ等の改修には多額の費用が発生するため、改修時には施設のあり方から検討する必要がある。
- ・広島空港の開港及び滑走路延長による空港周辺地域対策として設置した経緯も踏まえ、当面、施設の機能維持は必要である。

4 実施方針

- ・利用圏域については、市内外からの利用を見込んだ施設であるため、圏域設定はしない。
- ・観光振興だけでなく地域活性化の拠点、健康増進、憩いなどの施設として勘案する必要があるため、利用者数だけで施設の継続性について判断することは難しく、施設の役割とその効果、採算性、周辺施設との機能重複、競合性などを鑑みながら、公共施設としての必要性を明確にした上で再配置を検討する。
- ・高坂自然休養村は、観光農業の推進や市民の憩いの場として必要な施設であるとともに、重要な観光資源である佛通寺に隣接していることから、お互いの強みを生かし連携することで、今後は市外からも幅広く集客できる施設として活用する。
- ・民間や地域団体等が主体となり運営することが可能と思われる施設については、可能な限り管理・運営主体の変更や民営化について検討するなど、積極的に整理を進めるとともに、地域振興の拠点となる施設については、施設が担う役割や位置付けを整理した上で、今後の方向性を検討する。

5 個別施設の方向性

施設名	方向性		説明
	機能	建物	
道の駅みはら神明の里	継続	継続	収支状況を踏まえて管理コストを削減しつつ、機能・建物を継続し、一層の利用者増に取り組む

道の駅よがんす白竜	継続	継続	収支状況を踏まえて管理コストを削減しつつ、機能・建物を継続し、一層の利用者増に取り組む
高坂自然休養村	継続	継続	キャンプ場は廃止し、観光農業の推進や市民の憩いの場として、施設の利用促進を図る。管理運営については、指定管理者制度の導入を検討する
宇根山家族旅行村	当面継続	当面継続	当面は機能・建物を継続し、管理運営については、3施設（天文台、家族旅行村、青年の家）での指定管理等の検討により運営強化をめざす
棲真寺山オートキャンプ場	継続	継続	機能・建物を継続し、管理コストの縮減に努める
大和サイクリングターミナル	検討	廃止	当該地での需要が少ないため建物を廃止する。機能の有効性（ニーズ・効果・採算性等）を精査し、必要な場合、最適地での実施を検討する
すなみ海浜公園	継続	継続	機能・建物を継続し、管理コストの縮減に努める
小坂農村公園	検討	当面継続	周辺に公衆トイレが無い場合、建物（トイレ）を当面は継続し、管理については地域で行う。改修が必要な時期に、利用状況により機能・建物の方向性を検討する
高坂親水公園	継続	廃止（トイレ）	公園としては継続し、地域で管理する。建物（トイレ）は、廃止する。
善入寺温泉スタンド	当面継続	当面継続	当面は機能・建物を継続し、大規模改修が必要な時期に収支状況等を踏まえて検討する

6 年次計画

施設名	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
道の駅みはら神明の里	継続							
道の駅よがんす白竜	継続							
高坂自然休養村	継続			指定管理者制度を検討する				
宇根山家族旅行村	当面継続			指定管理業務開始により運営強化を図る				
棲真寺山オートキャンプ場	継続							
大和サイクリングターミナル	地元協議	移転協議/廃止						
すなみ海浜公園	継続							
小坂農村公園	当面継続（大規模改修が必要な時期に地元と協議）							
高坂親水公園	トイレ廃止	（公園は継続）						
善入寺温泉スタンド	当面継続（大規模改修が必要な時期に収支状況等を踏まえて検討）							